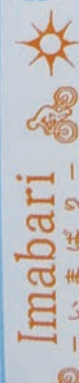


2015

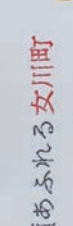
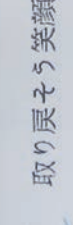
全国シテイセールスデザインコンテスト

越前織



越前織

取り戻そう笑顔あふれる女川町



SAPPORO

sapporo-smile.com

越前織

SAPPORO

sapporo-smile.com

越前織

SAPPORO

sapporo



越前織



緑結びのまち出雲



越前織

ストラップに織り込まれた町並みは、
女川に住むみんなの誇りです。

ボロボロになっても持っていたい。
このまちをつくった証だから。

東日本大震災から5年。女川のまちは
少しずつ活気が戻っています。

「まちびらき」や「復興祭」など、復興を町民みんなで祝うイベントが何回か
ありました。去年までなかった駅ができ、
商店街ができ——新しい場所にまちの人が
集まって、笑顔になっていくのを見るた
び、やりがいを感じます。「自分もここに
いる。このまちをつくっているんだ」って。

女川に住む人みんなに笑顔でいてほし
いから、今は一日も早い復興をめざして
精一杯働きたいです。この越前織のスト
ラップは、ボロボロになっても使うでしょ
うね。そしていつか家族を連れて女川に
戻って、「このまちは父ちゃんがつくった
んだぞ」と言える日が来るまで、大切に
持っていたいです——自分が女川の復興
に汗を流した証だから。

【DATA / 宮城県女川町】

人口は約7千人。東日本大震
災では14.8 mの津波により、
約7割の住宅が流出した。

◀女川町

復興のイメージ図



▶「取り戻そう笑顔あふれる女川町」一。
復興していくまちをデザインした越前織ス
トラップを愛用する久保さん。後ろの建物
は、平成27年3月に開業した「JR女川駅」
(奥)と、同年12月に開業したテナント型
商業施設「シーパルピア女川」。

久保貴史さん（横浜市出身・24歳）

鹿島建設㈱に入社後、同社おながわまちづく
りJV工事事務所に配属。約1,000人の”仲間”
とともに女川町復興の現場で働いている。

越前織とは

※ 2015 コンテスト入賞作品



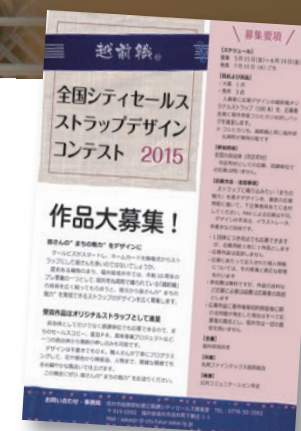
京都西陣織の流れを汲む、人物や色鮮やかな花などをきめ細かい風合いの織物で再現する細幅織物の総称です。主要製品は洋服に施すネームタグで、国内シェアの80%を誇ります。

産業の最盛期は東京オリンピック後の昭和40年代前半。その後、タグを施す洋服の生産自体が海外に移り、企業数は減少していますが、今もその高い品質を求めるブランド服飾メーカーなどからの注文に応えた製品が生産されています。



▲ 2015 コンテストの表彰式に入賞自治体を代表して出席した宮城県女川町さま、大阪市消防局さまが、越前織ストラップを実際に織る現場を見学

越前織
全国シティセールスデザインコンテスト
(平成27年6月～7月)



▲全国からの応募に織物産業に少しづつ元気が生まれ、若い力も加わるようになりました。第2回も一層の応募をお待ちしています。

受賞自治体での活用スタイルは、窓口業務や広報部というものから全職員でというものまでさまざま。観光PRにと、駅の職員や国際会議の役員にご着用のために例や、ユニークなところでは、ふるさと納税のお礼の品としても人気を集めています。地域の魅力が詰まったストラップ。職員の皆さんからは「まちや取り組み仕事への誇りにつながる」と、嬉しいお言葉をいただいています。

使い道はさまざま

地方創生を背景に実施したコンテスト。多くの作品が寄せられただけでなく、受賞した自治体では地元のメディアの皆さんにも高い関心を持っていただき、全ての地域において新聞掲載などで報道いただきました。

地域のメディアでも評判に

伝統技術の継承とまちの魅力発信を目的に、坂井市と越前織の組合（丸岡ファインテックス協同組合）が平成27年に協働で実施した、全国シティセールスデザインコンテスト。対象は全国約1800の市区町村。地方創生が叫ばれる中、「まちの魅力をデザインしたストラップを作って、市民や観光客にまちの良さをPRしませんか」という呼びかけに、北海道から九州まで100を超える自治体から応募をいただきました。

まちの魅力をデザインに

伝統技術の継承とまちの魅力



神奈川県相模原市(中央区)

JAXA 相模原で生まれた小惑星探査機はやぶさ。ミッション成功への市民の誇りやあふれる思いを、桜の花びらが舞い広がる軌跡に見立てたデザインです。



北海道美幌町

職員はもちろん、地元メディアの記者の皆さんにも喜んで着用いただいています。「新聞報道で知った。ぜひ分けて」という町民の方にもお配りしたのだそう。



大分県豊後高田市

市公式ブランドマーク「全力発展中」をオレンジの文字で織り込んだストラップ。市の職員全員が着用して、日々全力で業務にあたっております。



山梨県韮崎市

選考時、女性に一番人気だった韮崎市のストラップ。特産のブドウやモモ、サクランボを色鮮やかに織り込んでいて、自然あふれる美しいまちが想像できます。



岩手県花巻市

宮沢賢治生誕120年記念ロゴ(平成28年春に決定)とともにストラップを着用。「銀河鉄道の夜」をイメージしたデザインで「星」には光る糸を使っています。



愛媛県今治市

タオルの産地・今治市のストラップは、「糸」の感触を楽しんでもらえるよう、裏側にわざと糸を見せた仕上がり。菅良二市長にもご愛用いただいています。



北海道札幌市

札幌市シティプロモートのコンセプト「サッポロスマイル」をデザインしたストラップ。缶バッジと合わせて広報部の職員全員に着用いただいています。

大阪市消防局

国内外から約3万人もの消防関係者が集うコンベンション「IFCAA 2016 OSAKA」を、平成28年6月に4日間の日程で開催する大阪市消防局。そのロゴとキャッチコピーをデザインしたストラップは現在、PRイベントや視察対応の場で活用しているほか(下の写真)、IFCAA 2016 OSAKA 本大会でも海外からの参加者やスタッフなど、約2,000人が色分けしたものを着用するため、追加制作を進めているところです。



島根県出雲市

出雲市は縁結びのまちとして注目を集めています。コンテスト入賞直後の定例記者会見では、長岡秀人市長(写真中央)みずからストラップを着用。「出雲ブランド室の職員がデザインしたんですよ。みんなで着用して、出雲の魅力を発信します」とのお言葉どおり、市の職員はもちろんJR出雲大社駅の職員、商工会の商品開発PRのスタッフなど、たくさんの方にご愛用いただいています。

企画・編集／ 福井県坂井市総務部秘書広報課
シティセールス推進室
福井県坂井市坂井町下新庄 1-1
発行／ 平成 28 年 3 月 31 日
※無断転載を禁じます

越前織

全国シティセールスデザインコンテスト

City of Sagamihara, Chuo Ward

City of Sagamihara, (

美幌の森
おいしい空気はごちそうです

美幌
Since 1887

みんなの「全力」が、このまちの未来をつくる。

みんなの「全力」が、このまちの未

全力余展中

全力余展中

全力余展中

IFCAA 2016
大阪市



未来へ繋げるアジアの消防
～ Fire Service in Asia for Future Generation ～



IFCAA 2016
大阪市



未来へ
～ Fire Serv

